

## 《課題名》

感染性心内膜炎に対する手術成績の検討

## 《研究対象者》

2002年9月より2018年3月までに滋賀医科大学附属病院心臓血管外科において「感染性心内膜炎」と診断され、手術を受けた方

## 研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大で既に保有している臨床情報を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただかずに、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加（情報提供）を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

### （１）研究の概要について

研究課題名：感染性心内膜炎に対する手術成績の検討

研究期間：滋賀医科大学学長承認日から2022年3月31日

研究機関・実施責任者：滋賀医科大学 心臓血管外科 教授 鈴木 友彰

### （２）研究の意義、目的について

#### 《研究の意義、目的》

細菌により心臓に感染をきたす患者さんに対する治療方法は抗生剤による保存的治療と心臓血管手術による外科的治療があります。コントロールが難しい感染や心不全状態にある患者さんは早期の手術適応になりますが、細菌による心臓の感染の活動期もしくは抗生剤加療後の安定期のどちらの時期に手術を行うか、また、手術方法に関する共通認識は得られていません。

当科は今日に至るまで、感染性心内膜炎の患者さんに対しては、コントロールが難しい感染や心不全状態であった場合、積極的な手術加療を行ってきました。当科における感染性心内膜炎の患者さんに対する治療成績をまとめることで、治療方針の妥当性を検討するとともに、予後良好や予後不良に關与する術前・術中・術後因子を調査します。

### （３）研究の方法について

#### 《研究の方法》

当科におけるデータベースと電子カルテより、患者さんの採血所見や画像所見、身体所見と

いった術前状態、手術時間や術中の肉眼所見といった術中所見、採血所見や画像所見、身体所見といった術後経過情報を利用し、統計学的処理を行います。

( 4 ) 個人情報の取扱いについて

《個人情報の取扱いに関する記載》

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

( 5 ) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

( 6 ) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

( 7 ) 利用又は提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用(又は他の研究への提供を)停止することができます。停止を求められる場合には、2022年3月31日までに記(8)にご連絡ください。

( 8 ) 問い合わせ等の連絡先

滋賀医科大学 心臓血管外科 榎本 匡秀

住所： 520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号： 077-548-2244

メールアドレス： mmotoeno@belle.shiga-med.ac.jp